



LCIF国際援助交付金を申請するには



国際援助交付金とは何か

国際援助交付金プログラムは、2か国のライオンズによる人道主義的事業を支持するために設けられた。この交付金の対象となるのは、運営に関係する事業(備品、労働者訓練、運営開始費用など)であり、恵まれぬ人々を直接、直ちに助けるライオンズ対ライオンズの事業である。

又、LCIFの伝統的な奉仕分野である視力その他の障害者援助の事業にも交付される。東ヨーロッパ、アフリカ、南アジア、その他の発展途上国でライオンズクラブが奉仕している地域社会の数を考えると、事業の範囲は無限であろう。次のような事業が考えられる。

- 給水事業(水が不足している地域で井戸を掘る)
- 保健サービスの向上(眼鏡配布と訓練、村の保健員訓練、医療センターに備品提供、腎臓透析機や老人の医療など医療サービス)
- 地方開発(農業訓練や食糧生産、小さな作業所設置や貧困地帯での職業訓練などの経済開発)
- 教育及び識字(低収入の学校に書籍やコンピューター提供、教師の訓練、識字運動に資金提供、職業技術訓練)
- 障害者援助(貧しい地域でリハビリサービス、義肢サービスセンター、車いすバンク、障害者の自立に助力するセンター)
- 環境保全(植樹や再植林、衛生施設)
- ライオンズ医療使節団や国際眼鏡再生活動の支持

LCIF国際援助交付金の主な要素

- 大事な人道主義的ニーズに応える。
- 少なくとも二つの異なる国のライオンズクラブ又は地区が関係する。
- 長期的恩恵を与える。
- 多くの人又は特に援助が必要な人を助ける。
- ライオンズの事業であることが明示される。
- ライオンズ又は他の資金源を通して、事業資金

8件の国際援助交付金事業例

- サンディエゴ・ヒルクレスト・ミッションバレー LC(米国4-L6地区)は、ファイガルバLC(ニカラグアD-5地区)との協力で、外科医チームと眼科器具をファイガルバに送った。
- ラスベガス・サンダウナーズ LC(米国4-N地区)は、3万個の眼鏡配布の使節団をヨルダンに送り、視力検査を行うと同時に視力検査についてヨルダンのライオンズを訓練した。
- 米国26-C地区ライオンズは、ツベリシ・ライオンズクラブとACTS奉仕組織と協力し、ジョージア共和国で糖尿病児のキャンプを組織した。
- フランス103-CS地区ライオンズは、バマコLC及びライオンズ「アフリカに水を」組織と一緒に、マリの三つの村で七つの井戸を掘った。
- 米国27-複合地区ライオンズは、地方眼鏡再生センターの運営補助金を受けた。同センターは、世界各地に使節団を送って眼鏡を配っている。
- 米国27-C1地区ライオンズは、メキシコのリオブラボLCと共に、レイノーサとリオブラボへの訓練及び眼鏡配布使節団派遣をスポンサーする。
- 米国27-E2地区とニカラグアD-5地区のライオンズは、ニカラグアでのビタミンA配布事業を行う。国際援助交付金は、125,000人の妊婦と子供のために錠剤を買うのに使われる。
- 米国2-A1地区ライオンズとエルサルバドルD-2地区ライオンズは、エルサルバドルで眼鏡訓練ワークショップを行う。他のラテン・アメリカ国でも、似たようなセミナーを予定している。

国際援助交付金の特徴

これは国際的な交付金プログラムであるから、資金その他の援助をするスポンサーのライオンズ地区又はクラブと、対象国で事業の実施と管理に責任を持つホストのライオンズ地区又はクラブの少なくとも2か国のライオンズが、パートナーとなっていなければならない。スポンサー・ライオンズが、交付金の申請をする。交付金の範囲は、US\$5,000からUS\$30,000である。

同交付金のユニークな特徴は、国際的な交流とボランティア活動の機会である。専門技術提供のために事業地を訪問する費用、医療使節団の旅費、訓練のために専門家を派遣する費用も、交付金と同額資金として使うことができる。このような国際交流や知識の交換が、この交付金プログラムの基本である。

LCIF国際援助交付金申請にはどのような手順に従うか

第1段階: 準備

事業の考案は、スポンサー又はホストの地区又はライオンズクラブのどちらにもできる。パートナーとなるライオンズクラブや地区を探す機会はいろいろある。既に他の国のクラブと姉妹提携を結んでいるクラブもあるだろう。結んでいなければ、国際本部のプログラム企画課に連絡してその可能性を検討できる。地区国際関係委員長も、他の国との関係を持っているだろう。今は、インターネットやファックスのお陰で外国のライオンズとの交流も簡単になっている。

又LCIFは、他国のライオンズとの協役に役立つ「国際援助事業の機会リスト」を作った。このリストを使って、特定の国の事業を援助したいライオンズはLCIFに事業案を提出できるし、ホストしたいライオンズは、LCIFに連絡してスポンサーを見つけることができる。更に、特定の事業に関する背景や技術的情報を取得するために、事業の基準をLCIFから取り寄せられる。

種々の民間機関は技術的援助や基準に関する良い情報源であるから、その助力を得て事業企画や実施にあたると良い。このような協力には、ライオンズが積極的に関係し、その関係が明確に表示されるよう配慮しなければならない。第三者が関わる場合には、その組織の説明とライオンズの関与の説明が必要である。

第2段階: 地区又はクラブの協力

どの申請にも、クラブ会長又は地区ガバナーの承認が必要である。ホストクラブも経済的に寄与することが奨励されるが、LCIF交付金と同額の資金を集める責任はスポンサークラブにある。申請書提出の際に金額集まっている必要はないが、資金が集まるまでLCIFは交付金を支給しない。予算には、集金済、誓約資金、予期資金を加えることができる。

LCIF援助金受領の資格がない事業

- ライオンズの関係が表示されていなかったり、ライオンズが直接関わっていない事業
- 既に存在する事業や施設の普通運営費及び給料
- 主要建設事業
- 政府その他の機関が資金援助すべき事業
- ローンの返済のため又は積立基金を設けるための援助金
- ライオンズ及び(又は)家族が所有権を持っていたり、直接又は職業上の利益を受ける事業

第3段階: 申請書提出

スポンサーのクラブ会長又は地区ガバナーが申請書を記入して署名を付ける。事業名、申請金額、恩恵を受ける人の見積り数を記入し、対処すべき問題、スポンサーとホストの両ライオンズの具体的な役割、事業のスケジュールを簡潔に説明する。LCIF理事会々議の審議事項として載せるには、その会議の60日前までに、完全な形で申請書が届いていなければならない。

第4段階: LCIF援助交付金課での申請書受領

まず援助交付金課が申請書に目を通し、追加の情報や変更が必要な場合には申請者にその旨が伝えられる。すべてが整ったら事業案が要約され、二つの委員会のどちらかに対して提出される。申請がUS\$5,000からUS\$10,000の場合には、LCIF理事長が率いる本部内委員会が検討し、US\$10,001からUS\$30,000の場合にはLCIF理事会が検討する。

第5段階: 交付金申請の承認

交付金が承認されると、スポンサーのクラブ会長又は地区ガバナーに通知が行く。この手紙には交付金の小切手(条件なしで承認された場合)と新聞発表記事見本が含まれる。交付金管理者がLCIF交付金の支払と記録維持の責任を持つ。事業が次の会計年度にも続いた場合には、管理の権限を後継者に委任することができるが、LCIF理事会の承認があった場合だけである。

第6段階: 地区の事後処理

交付金管理者は、事業完了の際に、最終報告書をLCIF援助交付金課に提出しなければならない。この報告用紙は、交付金が承認された際に交付金管理者に送られる。最終報告書には、写真、新聞記事切り抜き、その他事業完了に関する書類を添える。

国際援助交付金予算見本

(収入と支出は同額でなければならない)

収入		支出	
スポンサー・クラブ又は地区 (集金済)	US\$6,000	使節団旅費	US\$ 5,000
使節団メンバー(集金済及び誓約)	5,000	医療用品	2,500
ホストクラブ又は地区 (集金済)	500	(各品目の明細を記入)	
地域社会の寄付(予期資金)	2,500	種々備品	17,500
第三者組織(集金済)	1,000	(送り状添付)	
LCIF交付金	10,000		
	<u>US\$ 25,000</u>		<u>US\$ 25,000</u>

国際援助交付金の問合せ先: 国際本部のLCIF交付金課、電話 (630) 571-5466、内線292又は507
ファックス (630) 571-5735



ライオン誌本部版1997年10月号から引用